



令和8年度 学校教育経営案

〈学校経営方針〉

長崎市立戸町小学校

一人一人の児童が、失敗を恐れず自ら挑み学ぶ経験を重ねるとともに、あらゆる他者を価値ある存在と認め、違いを補い合いながら、教職員の伴走のもとで、協働して主体的に未来を創り出す資質を身に付けることができるようにする。

〈学校教育目標〉(最上位目標)

「自ら考え、ちがいをみとめる戸町っ子」

〈目指す児童像〉



と:とことん挑戦する子供
ま:まちがいから学ぶ子供
ち:ちがいを認める子供



〈目指す学校像〉



- ・子供が行きたい楽しい学校
- ・保護者が通わせたい信頼できる学校
- ・地域の人が自慢したい誇れる学校
- ・教職員が勤めたい働きがいのある学校



〈育てたい資質・能力〉(共生力)

(共学力)

戸町スタンダード(聞き取る力・考えを伝える力)
 自らの学びを調整する力
 失敗から学ぶ力

(共働力)

「静かさ」をつくる力
 やりぬく力
 コミュニケーション能力
 チームで成果を出す力

(共感力)

グリーンハート
 (寄り添い、感じ取る力)
 ちがいを認め合う力
 自分を大切にする力



〈目指す教職員像〉



失敗を保障し子供に寄り添う教職員



子供の主体的学びを支援する伴走者



自らの学びを大切にしている教職員



同僚や地域、家庭と連携できる教職員

学校教育目標の具現化に向けた方策(3つの柱)

1「学校は間違ふところ」

- ・間違いや失敗の価値を認める学級経営
- ・失敗してもくじけない心の育成
- ・「指示待ち」からの脱却
- ・教師の過剰な準備の抑制

2「学校は社会の縮図」

- ・人権を意識した教師の言葉遣い
- ・多様性を尊重する特別支援教育
- ・いじめに対する毅然とした指導
- ・データ活用能力・AIリテラシーの育成

3「教師は伴走者」

- ・教師主導から児童主体へ
- ・協働的な学びの充実
- ・「あいあいタイム」の充実
- ・自己決定のための効果的な支援
- ・児童自ら計画する家庭学習の充実

※ 最上位目標を常に意識した声掛けを!

連携・協働



地域(地域行事・人材)・家庭と連携した教育活動の推進
 ・コミュニティスクール・家庭との連携・戸町中学校区との連携・幼保小連携

〈学校経営方針〉

一人一人の児童が、失敗を恐れず自ら挑み学ぶ経験を重ねるとともに、あらゆる他者を価値ある存在と認め、違いを補い合いながら、教職員の伴走のもとで、協働して主体的に未来を創り出す資質を身に付けることができるようにする。

〈学校教育目標〉（最上位目標）

「自ら考え、ちがいをみとめる戸町っ子」

〈目指す児童像〉

- と:とことん挑戦する子供
- ま:まちがいから学ぶ子供
- ち:ちがいを認める子供

〈育てたい資質・能力〉（共生力）

- （共学力）・戸町スタンダード（聞き取る力・考えを伝える力）
・自らの学びを調整する力・失敗から学ぶ力
- （共働力）・「静かさ」をつくる力・やりぬく力
・コミュニケーション能力・チームで成果を出す力
- （共感力）・グリーンハート（寄り添い、感じ取る力）
・ちがいを認め合う力・自分を大切にする力

〈目指す学校像〉

- ・子供が行きたい楽しい学校
- ・保護者が通わせたい信頼できる学校
- ・地域の人々が自慢したい誇れる学校
- ・教職員が勤めたい働きがいのある学校

〈目指す教職員像〉

- ・失敗を保障し子供に寄り添う教職員
- ・子供の主体的な学びを支援する伴走者
- ・自らの学びを大切にする教職員
- ・同僚や地域、家庭と連携できる教職員

学校教育目標の具現化に向けた方策（3つの柱）

1「学校は間違ふところ」

- ・間違いや失敗の価値を認める学級経営
- ・失敗してもくじけない心の育成
- ・「指示待ち」からの脱却
- ・教師の過剰な準備の抑制

2「学校は社会の縮図」

- ・人権を意識した教師の言葉遣い
- ・多様性を尊重する特別支援教育
- ・いじめに対する毅然とした指導
- ・データ活用能力・AIリテラシーの育成

3「教師は伴走者」

- ・教師主導から児童主体へ
- ・協働的な学びの充実
- ・「あいあいタイム」の充実
- ・自己決定のための効果的な支援
- ・児童自ら計画する家庭学習の充実

※最上位目標を常に意識した声掛けを！

連携・協働

地域（地域行事・人材）・家庭と連携した教育活動の推進

・コミュニティスクール・家庭との連携・戸町中学校区との連携・幼保小連携